(廿四日夕刊)
磐城新聞
休刊 大祭第一第三日曜
定價(壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢)
廣告料(二行五十錢指定廿錢增)
發行兼編輯印刷人 蓮沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社 電話五六四番

求職者の心得

平 四河生

世の中がいよ／＼世智辛くなつて失業者は到る處に溢れてゐる今、求職者が如何にすれば其の目的を遂する事が出來るかは誰しも考へる事であらう、この心掛けの如何によつては人を求めながらも採用されぬ事もあれば求めざる時にたいても採用される事がある。

第一、紹介を受けたる時は紹介狀を忘れぬ事それから名刺と履歴書この三つは必ず忘れてはならぬものである、紹介狀の出し方は紹介狀に名刺を添へて『御多忙中恐れ入りますが』と丁寧に差し出すべきで、名刺のみ差し出して面會の上紹介狀を出す事は極めて不味いのみならず名刺のみでは面會を謝絶される事もある、履歴書は簡潔明瞭なものを何時でも二通位は用意しておくのがよろしく、又戸籍謄本、身分證明書等就職上必要なものは常に用意しておくべきである。

第二は風采と身だしなみである、風采の立派とか堂々といふ事は生れつきや境遇に依る事が多いから上乘なものを望むのではないが只着物にしろ調度品にしろ垢のつかないもの甚だしく奇嬌に失しないものを身につくべきで品はよくとも垢じみたものとか不快や滑稽に類するものは本人の人格を見すかされるものである身だしなみも所謂おしやれたる事は必要としない、不性、髭の真黒なのや爪の間の見えるのや口中の惡い、ボタンの外れ、カラー、ネクタイの汚れ、泥靴の手入れの行き届いてゐない事は末學のやうではあるが大膽にして細心とか勤勉を喜び不性を惜む實業家等にとつては第一に嫌はれる事である。

第三は應接振りである。言語の不明瞭、たど／＼した態度、高慢ぶつた表情等何れも第一印象として良いものを與へるといふ事は決して出來ない。不得要領が禁物で簡潔明快な答辯こそその秘法である。姿勢は屈せず縮まず目は向ふの人を正視すべきで、上や下や横を向いて話す事はよろしくない。

第四は時間の觀念でこれは都會生活をなす者は特に注意すべきである。用事が濟んだら『何分よろしく』とか『何卒御採用を願ひます』とか『何時に伺ひいたしませうか』とか立つて退出する事を忘れてはならない。

まだ澤山あるが第一に注意すべき事は大体以上のやうな事である。

娯樂室

冬には自然室內の遊びに親みます、歌留多取りや双六などして遊ぶ事が例でありますが、歌留多の取り疲れや、双六に捲んだ時のために何か面白い遊びをして氣持を轉換するがよいと思ひます。そこで玆に双六の賽ころでする遊びを記しませう。

先づ相手に賽をふらせます。そして現れた賽の目の數を記憶させて置き、更に振らせて出た數を記憶させて置くのであります。そこで相手の記憶してゐるどちらかの數に五をかけさせます、次ぎにその答へに七を加へて後、更に二をかけさせるのであります。今度はその答へに他の記憶した一數を加へるのであります。處でその答へはいくらであるかを尋ねます相手が答へを示したならばその答から十四を引いた殘りの初めの數と後の數とが相手の記憶した數なのでありますたとへば相手が三と六を振り出したら相手は命せらるゝ儘に先づ三に五のかけて十五、それに七を加へて二十二、二をかけて四十四、次ぎに記憶した他の數の六を加へると五十になりますこの答へを聞いたら十四を引いて三十六となります。すなはち三と六とは相手が記憶した賽の目の數になる譯であります。これで當らそうな理窟が分らないに拘らず立派に當るのが妙ですつまり數の不思議といひませうか。

明日の吉凶

舊暦十二月十五日　新暦一月二十五日

▲一白 の人地の利は無けれども人の和はあり進んでよし
▲二黑 の人內に竄する所ありとも外には大にのびん日
▲三碧 の人早のみ込みするときは意外の失敗を招くべし
▲四綠 の人苦は身をみがく砥石と思ふて辛棒すべき日
▲五黃 の人身をひくふして根限り働く時は大吉となる
▲六白 の人そとに出でゝ人の口舌を聞くよりも內が安全
▲七赤 の人內を能く整理する時はそとは自順調となる
▲八白 の人運氣書に向つて開け行く日入學名弘何れも吉
▲九紫 の人運氣滯あせればあせる程つまづきあり萬般注意

讀者欄

文學と望鄕心

早稲田學園ニテ 齊藤昌武

ぢつと眼をとぢてすぎた時代を思ふ時そこには常に一つの時代精神が流れてゐる、何れの時代にも文化の中心となる根底となつてゐる思想があるかくて文學はその多趣に拘はらず常に時代の反映である、繁雜な都會に立つて眺めるとき天体の如何に偉大なるかを云ふ迄もない都會のよい激烈な所謂人の巷に奔走して『成功』を望み希望を遂げんとする人は過度の刺戟のために疲勞は一層甚しく絶わず興奮をうけてゐる電車の中自動車の中に今迄は田園の清へ靜な生活に慕み美しい星や天体を眺めてゐたものがら人々稠密なる都會へに來ては少しく躰質の衰弱を感ずるのであらう。

一般から見て都會の死亡率は全人口から見て四分の一だけ多いそうである。物質的進歩の急なるにつれては彼等の生活狀態は益々自然の空氣に接しゝめる機會を減じ去るであらう、實際『都會病』の原因は單に激しい仕事からのみではない外界から恐ろしい樣な刺戟も有力な因である近代の歐洲文學は確に一つの都會文學である都會生活のあらゆる病的原象かそれらの書き物創作を通じてよく表れてゐる……

例へば都會のはげしい機械的な生活に、あきた人々が在鄕の頃に慕かつた山や河、田園の風光とかその素朴さをなつかしむ一種『望鄕心』がある、またあらゆる刺戟にあきた人は靜隠無な田園生活が返つて一種不可思議な刺戟となるのである、最近までハムレット藝術(郷土藝術)はやはり都會に永往してその生活にあきた、作家の地方丸出しの作であつたそしてその望鄕心は平凡な詩や文章にまで感動を與へたかくて花や動物や山河、草木は末だ賢者の玩具となつたことはないかそれらの人の單純な心を警ばしたと等しく彼の最も爛熟した時代をば作として反映した即ち吾々は幾多自然の事物から與へられた感銘の全一無缺あることを覺わるのである、かく自然に接しやうとする心事は明に近代人の變質と文學の上に特種な傾向をもち來しつゝある。

講談 幕末狂想曲

(142) 渡邊默禪作 宮野歌春畫

『むん、成程さうかな』

『だから頭、そんな心配には及ばねえつてことよ、もうお君さんのことは忘れてしまほふ、お前さんも忘れちめなせえ、だがそれはそれ、是は是、お前さんと私との仲は切つても切れね親分乾分だ、此の世の中はどう引つくりかへるか知らねえが、德川様の恩ばかりは忘れちやならねえ、コウ頭息のある中は義理で立て引く江戸ッ子だ、一つアリアリヤンの木遣節で威勢良くやつつけようぜ』

快活な勇ましい言葉に音は夢から醒めた樣、ぼうとした眼で梅の顔を見上げてゐたが太息を呑んでひそかに胸を撫で下ろすのであつた。

『あゝ心配させられちやつた南無梅公大明神』

× × ×

その翌夜、新撰組の近藤と土方外五六人の重立つたのが江戸の見納めと云ふ口實で吉原の妓樓佐野槌屋に最後の豪遊を試みた、英雄の閑日月、明日が甲州へ進發と云ふ間際にさりとは呑氣な手蜚である。梅は出發の準備に忙殺されてゐた九つ近い時分になつても隊長が戻つて來ない聞くと吉原だと云ふ、不埓な奴だと立腹して自身で迎へに出かけた、首根つ子を捉らまへて曳づり出そうと云ふ見幕、大門近く差しかゝつた出會頭、行手から一人の門付らしい女が來た、背に赤子らしいのを負つてゐる、すれ異ひ樣にひよいと顔を見るとまぎれもないお君である

『や！きいちやん！きいちやんぢやねえか』

覺わず聲が出た、呼びかけられた先方は振り返つたがびつくりして顔色を變ねた

『おやッ！お前さんは！』

慌てゝ逃げようとした、慌てた風に駈け出す後から

『やい！待ちやあがれ、こん畜生ッ！』

と梅は鋭く叫んで追ひすがつた、つと伸ばしたひじの下にお君は一掴みにされてそれをすり拔ける力もなく

『アレッ！梅さん！か、勘忍してッ！』

ともかく中にずる／＼と二三間引きづられた、背上の勘一はおぎあ／＼と泣き出す、物見高い廓の夜彌次馬が、わあッ！と寄つて來る、その中に勘太郎も混つてゐる、と見てびつくりしたで顔で急いでとび出そうとしたが梅さんとお君が呼んだのに氣が付いて何を思つたかそのまゝ人影に身をかくしながら、きよろ／＼とした眼で樣子を覗いてゐる

『手前にやいろ／＼話しがある、まあこつちへ來い！』

梅は四邊の人群りを追ひ拂つてからお君を連れて五十軒町の吉德稲荷の社内に這入つた、そこには吉原大火後の普請用の材木が積み重ねてある僅か五六間、表から引込んでゐるばかりで此の一地內だけは人通りがとぎれてゐた君は餘儀なくおち／＼と後について來た、見られたが百年目、と覺悟をしながらも何となく薄氣味惡く此の有樣を勘太郎に見られはせぬかとしきりに背後に氣を使ふのであつた

『お君！』と梅は尖々しい聲の下に睨みつけた

『はい』とお君は押しつけられた樣な返辭

『手前は一體、人間か畜生か』と劈頭に奇問を浴びせた

『私し、尻尾が生ねてやしませんよ』

お君はその顔を睨み返す

スター好
ナフトール 着尺
新柄 モス着尺
新柄 ホグシ銘仙
其の外 色々取揃申候
平 龜田屋 電話五七

經濟德用煉炭
注文、配達者を募集
固定給及び販賣歩合制度を設けて優遇す、御希望の方は來社下されたし
磐城殖產合同株式會社 煉炭部
平町南町五〇番地電話四六番

生花教授
池ノ坊流 生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町十五丁目通り
須藤まつの

舊歳末謝恩第二回興行
廿四ヨリ巨彈又巨彈プログラム
日活特作……名匠池田富保監督
主演 山本嘉一 岡田時彥 河村菊江 河部五郎
大久保彥左エ門 全廿卷全部上映
日活のみ巨費を投じて完成せる名篇
◆本邦映畫界第一級推薦映畫◆
主演 河部五郎 酒井米子 大河內傳次郎
名篇 修羅王 前後篇上映
浪人？在參？今宵も三つの魂が消へた……倒幕の犧牲は三つ增した……吾等の滿願は近づいた……御用だ……寄れば村正の錆か鳴るぞ、觸れば汝の魂が消ゆるぞ
普通席金十錢
平館

伊勢參宮
京都紫宸殿拜觀
奈良巡拜
遊覽團體開催
▽會期 明春貳月貳拾日
▽會費 廿九圓五拾錢
但し〔申込と同時に金五圓を納入し殘額は二月迄五回に分納の事〕
▽人員 貳百名の豫定
▽申込 事務所 尼子亭
……通信班及び救護班を設く……
即刻申込まれよ！
募集期間中と雖も滿員の際は締切り候
主催者 尼子亭 吉田直之助
會計監督 山崎清三
會計 志賀盛榮
賛助員 平驛長 豊崎治助
事務所 尼子亭
松ケ岡公園內(電話二三〇番)

主婦之友三秀會製品
新春の帶側陳列會
時、一月二十三日
所 弊店階上
銘仙 錦紗 モスリン 御召
御用命下さい
平町
三井呉服店

新築移轉
耳、鼻、咽喉科
合津醫院
平町仲田町七一(電話五五九)

內科、小兒科(院長毎日療)
院長 醫學博士 難波睦
副院長 醫學士 五十嵐雄次
內科部長 中西林藏
外科一般
外部長科 醫學士 氏家憲介
手術毎日曜 醫學博士 鈴木退輔
產婦人科、女子泌尿科
產婦人科部長醫學士 五十嵐雄二
顧問 醫學博士 川添正道
×光線科
主任 醫學博士 難波睦
本院醫務法制囑託 法學士 岡蕃
本院主事 賀澤忠治
御大典記念事業トシテ
一衛生試驗所(共濟病院內)十一月一日ヨリ開始
一病氣相談所(共濟病院內)十二月一日ヨリ開始
一救療所(共濟病院內)十二月一日ヨリ開始
磐城共濟病院 平町電話六四一番
看護婦見習募集

鳥の水たき
親切勉强本位
鳥料理 初音
平町新田町川岸
電話二三六

貸地廣告
古鍛冶拾番地(縣社下天理教會東材木店跡)
病院 商店 工場 並ニ高級住宅地トシテ最適地 貳百五拾坪
右極安値永久ニ御貸致マス(分割モ可)
御希望ノ方ハ電話四四又御來談下サイ借地人本位ニ御相談シマス
平町古鍛冶拾番地
阿康藥店……電話四四番
櫻山

內科 小兒科 其他一般(入院隨時)
前田醫院
植田町本町(電話二二四番)
前田清美
(看護婦見習優遇募集)

X光線科
外科專門
入院隨意(自炊の便あり)
平 南町
上田外科醫院
電話一二九

平第一小學校の中學志望者激減
去年に比べて廿名　今年卒業者調べ

平第一小學校に於ける本年度の卒業生は總數三百十二名であるが尋常科卒業生が二百二十七名、高等科卒業生が八十五名であつて中學志望者は高、小共百六名、商業が七十名、合計百七十六名で昨年の中等學校志望者百九十六名に比して二十名の減を見てゐるが尋常科卒業生のうち上級學校志望者以外の者は高等科に進級家事に就くものであるが職業紹介所の手を經て東京の三越、松坂屋等から雇入れの申込があつたが一名の希望者も無かつた事は珍らしがられてゐるが逐年小學生の卒業數が増加することは平町の益々發展を物語るもので次は第二小學校であるが本年卒業生は尋高共も三百三十一名で男子に比べて十九名の多きを見せてゐるが女學校志望者は尋常科七十七名、高等科四十名であると

高村畫伯揮毫
諸橋氏も依囑

本邦肖像畫の大家高村晃陽畫伯は安部農銀平支店長の紹介により二十二日來平住吉屋旅館に於て目下揮毫中であるが畫伯の肖像畫は正に神域に達し前年澁澤榮一翁の米壽祝に當り記念揮毫を初め各名士の肖像畫をよくし天下の賞讃惜く能はざる處にして今回畫伯の來平を機に平町諸橋久太郎令息守次氏夫妻の肖像畫をも依囑されたが申込み殺倒してゐると

泣き言を言ふ割に無理な求職者
炭礦方面は二の足踏む　平紹介所も呆然

平町職業紹介所の昨今は此の寒空に職を求めて押寄せる哀れな人群で賑つてゐる人の世は春だと云ふのに稼ぐに仕事さへも與へられない此等の人々の爲めに紹介所では全力を擧げて求人の開拓に努めては居るが流石に深刻な不景氣風の祟る樣でなく依然就職難を叫ばれてゐるが

「今日あたりも午前中五人程の求職者があり出來得るだけ就職させもしてやりたいと努めてゐるが何しろ求職の半にも達しない求人數ではどうにも仕方がありません、農閑期で農村方面の求人は皆無工場とか會社とかは勿論商家等からの求人も殆んど皆無の狀態です僅に炭礦方面のみで此れも求職者の大半が炭礦ならばと二の足を踏むので努力甲斐がありません然し舊歳晩が押詰れば平町の商家方面からも臨時の求人が可成あり舊正月でも迎えれば各方面から相當の求人申込があるものと豫想され何とか緩和するでせう」云々

と係員は語つてゐたが惠まれない求職者數は去る四日から連日五人平均に達し紹介所では小學校卒業期も近いたので少年の求人開拓に就いて東京本部其の他と打合せ中であるが既に申込んだ求人數も相當の數に達してゐるから此の少年紹介には求人の開拓もさして困難が伴はないものと觀られてゐる

唄にケチを付けられ出刄庖丁で斬る
醉つた揚句の二人同志　平署で取調べ中

好間村大字上好間居住石川郡野木澤村生れ日雇業近內始（三二）は廿二日午後八時頃平町久保町の居酒屋鈴木金三郎方で一杯引掛けスッカり氣分が好くなつたので得意の相馬二篇返しを呻り出したが折柄同家の裏座敷で友人二人と飲酒してゐた好間村大字下好間農業木田信治（三五）か「へボ野郎出駄羅目の節なんか止せ」ときこわよがしに吐鳴つたのに憤慨口論の果て始は傍にあつた刄渡七寸餘の出刄庖丁を信治の左足下部に叩き付け信治が悲鳴をあげ昏倒したに驚ろき逃走し信治は直ちに平町六丁目木村醫院で應急手當を受けたが深さ約一寸巾三寸可成の傷害で全治三週間を要する見込で此れを探知した平署では加害者始外關係者を召喚目下嚴重な取調中である

狩れ共盡きぬ不良横行
平町夜の街道

平町地方に於ける不良青少年男女の跋扈は暖風の吹くに連れ人々の隨氣に付入り誘惑の魔手を伸さんとしてゐるが過般末前に防止された內郷村の不良團の如きまたは頻々に起る不良連の犯罪に鑑み平署では不斷の取締を怠らないが狩れども狩れどもつきせぬ不良連に手を焼き盡してゐるが彼等は常套手段に暇なきあらゆる手段を講じてゐるが被害をしては婦女に關係したものが多く一般家庭に在つても若き婦女を持つた親達は絶えず監視の眼を怠らずにすべきである現在市內の活動館、南町街の薄暗きところに盛んに彼等不良が横行してゐるのを見受けるがこれら不良少年に襲はれた大部分は服裝があまり挑發的であつたり一人での外出歩き等でなるだけ危險と思ふ場所には近寄らぬ注意すべきであると

惡たれの坑夫質草を横領
平署に告訴

內郷村大字宮字金坂作山ハナ（三）は昨年七月十四日頃母の葬儀に參列する爲め隣家に住んでゐる茨城縣多賀郡華川村唐虫炭礦坑夫笹島新之助（三九）から衣類數點代約八十圓を質に路金として金六圓を借り受けたが其の後新之助が前記唐虫炭礦に住替たので去る九月元利共八圓五十錢を送金し質の衣類を取りもどさんとしたが新三郎は何故か衣類を送らず返さず再三ハナからの督促に對して言を左右にして應じないのでハナは此の程平署に出頭新之助を横領罪として告訴を提出した

入山採炭の社業樂觀
合理的に維持

湯本町入山採炭會社の前期の出炭高は二十萬四千噸に對して販賣高は十九萬四千噸で前々期に比し一割以上減少し利益は七萬七千圓拂込資本に對し利益率は三分五厘、前々期に比し金額に於て十二萬五千圓、率に於いて五分六厘といふ減少を示したが配當は例によつて三分を行つたので最近に至り漸く全國貯炭は送炭制限の効果を現はして漸次減少の傾向を示し常盤炭况も前期中採炭並に送炭の制限の賀りあがつて安定してゐる今後も引續き右制限を行ふ告であるから本年の炭况は合理的な市價を維持して昨年の如き不况を見る樣な事は先づあるまいと見られ當社業績も益々樂觀されてゐる

酒母麴の鑑評會
きのう平稅務署樓上で　入賞者の諸氏名

石城郡酒造組合主催酒母麴鑑評會は廿三日午前九時から平稅務署樓上に於て開催されたが酒母出品四十六人八十五點、麴出品二十四人三十三點の多きに達し審査長小池地方技師以下審査員の嚴重に審査の結果成績は例年より一般に優秀で入賞者次の如くである

△酒母の部（順不同）

小名濱町小野晋平、平窪村松本德一、同松吉展酒造店、內郷村四家又一、磐崎村御代武兵工、植田町鷲清吉、高久村鈴木喜太郎、川部村芳賀嘉右工門、平町馬目玉彌、鹿島村佐原久治、赤井村渡邊貞三、高久村鈴木兵十郎同本間佐源治

△麴の部

△（優等）高久村鈴木喜太郎、平窪村松本德一

△（一等）高久村鈴木兵十郎、赤井村渡邊貞三、川部村芳賀嘉右工門（二等）內郷村四家又一、草野村豐田吉松、內郷村馬目太平治（三等）飯野村水山繁木、平町馬目玉彌、高久村矢吹清貞

殘品『昭和』の惱み
記念煙草の賣行きに　平元賣捌所調べ

平町石城郡煙草元賣捌所について聞く御大典記念グロリー昭和の賣行きを見るとグロリーは賣出し當初から買占め防止の對策を講せねばならなかつた程需要が旺盛であつたが一方昭和の賣れ行きを見るとグローリーに比較して甚だ振るはずまだ殘品を藏してゐるが然し鹿島、朝日などの賣れ行き狀況に照らすと僅々二三ヶ月の間に約半數を消化したのは決して悲觀すべき成績でなく殊に昭和に對しては昭和黨といつた一種の固定した愛喫家が生れ兎に角グロリーに比較すると昭和の賣れ行きは一般に思はしくないやうであるがこれは主として喫味の關係でおつ從つて地方の嗜好によつて飛ぶやうに賣れるところと賣れないところがありこの配給の調節で緩和する方針なさうである

六才の幼女生不動
遂ひに絶命

石城郡赤井村字北赤井農木田岩吉二女つや（六）は二十二日午前九時ころ隣家の娘と外に燃えてゐる石炭の火に暖を取つてゐるうち着衣に火がつき忽ち生不動となつたのを近所のものが知つて駆けつけあわてゝ水をかけたゝめつやは絶命した

降格
今度出張所に　平刑務所

平刑務支所は來年度から出張所に降格することに決定工場監房事務所は一時全部取拂ひの第二小學校に隣接する二千五百坪の土地は平町に拂下て運動場の擴張にあて裁判所に接近した一番に監房と事務所を建築すると

一日一人
安藤琢磨氏

酒は飲まず煙草はやらず眞面目一本の辯護士、安藤先生に「酒はもと〳〵不得手ですか……」と尋ねると「イヤやらんとしてやるを得ないのサ………」といかにも辯護士らしい曰く付きの句調を備へ在平、在野法曹人の酒番附を御披露に及ぶ、先づ酒豪の部では酒井、千葉門傳、山野邊、榎木の五氏で一寸下つて安齊、中里、大峯、漆畑四氏が順序の小結格、新田目、永野、小野澤、安藤の四氏に至つては土俵はるかにザンギリ髮と云ふ所な相だ、安藤氏の結論に「要するに飲まんのは老人組サ」と先生自身老人になりきつてゐるが其の註に曰く「僕は廿二才の娘があり、更らに所有權の確認せない夫れ以前の子供が二、三人あるかも知れン」は親展々々

犯罪の自衛手段
猪狩平署長の注意

猪狩平署長は語る―各自の犯罪豫防に就いてはその結果に依つて犯罪を生む原因は各家庭が自然に其機會を與へる樣なものである、それで檢擧した者の調書に現はれた犯行の仕易い點から左の方法によつて各自が嚴重に自衛を講じて貰ひたい

一、戸締を嚴重にする事
（イ）戸締を忘れぬ事
（ロ）戸締は主人や主婦の任務とすること
（ハ）腐つた戸や溝の淺い戸はのみ一挺あれば容易に外れるだから早速修理する事
（ニ）磨滅した捲込錠は錠の役目をないから早速取換へる事
（ホ）心張棒は丈夫な樣で實は不用心
（ヘ）中途半端の錠より五寸釘を差し置く（戸の棧から敷居に穴を明けて）方が寧ろ安全
（ト）戸締前と就寢前には一應屋內を檢べる事（宵の中から押込や湯殿等に忍込んでゐる泥棒も居る

二、便所を嚴重にすべき事
（イ）汲取口を大きくせぬ事
（ロ）窓や格子を丈夫にして置く事（例の說教强盜は大抵便所から侵入する）

三、天窓を嚴重にする事
（イ）窓か開かぬ樣始末をして置くこと
（ロ）窓の下には臺になる樣なものを置かぬ事

四、床下を嚴重にする事
床下から潜入し臺所等のあげ板を押上げ屋內に侵入する泥棒が居る

五、屋內は暗く屋外は明るく
（イ）屋內が明るければ節穴やカーテンの隙から樣子がよく見える
（ロ）屋外が明るければ泥棒が家に近寄れない
（ハ）强盜殺傷などいふ事は點燈のまゝ就寢する家に多い
（ニ）外燈は體裁や往來の人の爲ではなし
（ホ）ニユーヨークに於ける夜盜の減つた主なる原因は外燈の殖わた爲めだと云はれてゐる
（ヘ）兎角犯罪白晝よりも夜、明るい所より暗い所に多く行はれるといふ事は動かすことの出來ない事實である

六、音響利用の泥棒
（イ）汽車や電車の沿線又は風雨の晩は少し位音がしても家人があまり氣に止めぬから侵入するのに樂だといふ泥棒もゐる注意の事

七、留守にせぬ事
（イ）留守にするから空巢にかゝる
（ロ）白晝外から錠をかけてゐる家又は聲をかけても應じない家は誰が見ても留守の證據
（ハ）空巢ねらひは毎日斯樣な家を物色して歩いてゐる

八、詐欺泥に注意する事
（イ）戸締後電報や來客等に事よせて戸を開けさせ矢庭に侵入して居直る泥棒がゐる、だからうつかり開けてはならぬ
（ロ）初對面の者が色々の口實を設けて上り込み又は家人を外出さしめ隙を見て仕事をなし逃走する泥棒もゐる

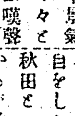
九、其他の豫防法
（イ）盜難報知機や番犬等に依つて泥棒の襲來を豫知する事
（ロ）ベル其他の方法に依り侵入せら泥棒にさとられぬ樣に互に隣家と通報し合ふ事
（ハ）夜寢る時は庖丁其他の刄物又は帶紐の類はキチンと始末をして置くこと、何となればこれ等物は往々にして兇器に利用されるからである

十、泥棒に侵入されたら
（イ）狼狽せぬ事
（ロ）勝算なければ滅多に手出しをせぬ事
（ハ）泥棒の風體人相着衣音聲語訛其他の特徵をよく見て置く事
（ニ）泥棒の歩いた場所へは一切足を踏入れぬ事
（ホ）直ちに訴へ出る事

濱三郡學校長會
二月十三日平第一校に　補習教育の充實

石城、双葉、相馬の濱三郡の百四校の小學校長、實業補習學校長會議は來月十三日午前十時より平町平第一小學校講堂に於て開催さるゝになつたが縣廳からは縣視學營野、齋藤の兩氏其の外臨席する筈、當日は聽取事項として左の二項を協議する

一、教育の地方化實際化に關する其の校施設の狀況如何
二、實業補習教育振興充實の狀況如何　以上



◆不景氣々々々といふ嘆聲を聞く中に藝妓置家や小料理店が殖ゑるとも減りやしないのは珍現象だ、ソレで結構皆やり通してるからエライもんよ◆そのお蔭で住吉屋本店とか谷口樓なんていふ大伽藍の大料理店は宴會の外小上りなんてものは先づアテにならない位なもの◆言ふまでもなく料理屋はケチな宴會よりも小上りの方が實入りがあるといふのでソレを歡迎する、チップ當てに生きてる女中さんなど無論小上りがあつて始めて息がつかれるのだ◆どころかゴ祝儀ヌキの酒は持ち込みと云ふ宴會ばかりなの、女中さん達大コボシ◆新田町久本から「きよ子」と名乘る新しい別嬪が披露目をした秋田産の十八才、秋田といへば產馬地だ、しかるが故に人を乘せるだけの力量は確にあるだらうと評判

優秀なる最新型腕卷時計

◆クローム側　白金代用側

十型	十石入　アンクル	七圓五十錢
十型	十五石入上アンクル	拾壹圓
九型	十石入上アンクル	九圓五十錢
九型	十五石入上アンクル	拾三圓
八型	十五石入　アンクル	拾貳圓
八形	十五石極上アンクル	拾五圓

◆十八金側（金質保証）

十型	十石入上アンクル	拾貳圓五十錢
十型	十五石入上アンクル	拾八圓五十錢
九型	十五石入上アンクル	拾五圓
八型	十五石入上ヤンクル	拾七圓

平町五丁目（釜屋商店前）
鐵道省御用　金光堂時計院　電話七三六番

醫院開始
◆內臟外科
◆外科一般
◆花柳病科
平町田町大通り
安齋外科醫院　電話四三六番

營業種目
內地材　材木各種、羽柄材各種
建築諸材請負
礦山用坑木其他諸材請負
外材部　米松、米杉、大角製材調達請負　其他
佐藤材木店　常磐線平町新川町　電話三三五番

良品廉賣に勝る商略なし
磐城平町五丁目
磐城セメント株式會社特約代理店
和洋銅鐵金物問屋　㊇　釜屋商店　諸橋久太郎
電話九番　一三九番
振替貯金口座東京一〇九五六番
確實敏捷は㊇の生命なり

外科　外科一般　耳鼻　花柳科
婦人科　婦人科　產科
內科
X光線科
赤心堂病院　平町田町（電四七五）